

グループ経営時代の本社改革

～グループ企業価値向上を目指して～

参加のおすすめ

株主重視の経営を求める声が高まり、経営目標として売上高や利益に代わって、企業価値が重視されるようになりました。また、会計制度変革によりグループ連結経営がスタンダード化し、単体企業の価値よりもむしろグループ全体の価値向上を競う時代となっています。

このため、企業は、グループ内での「事業の選択と集中」という経営戦略を従来にも増して大胆かつ迅速に推進するとともに、「グループのシナジー」の更なる追求を図ることが求められます。こうした中においては、「本社」も旧態依然のままであり続けることは許されません。グループ価値創造を積極的にリードする「本社」への転換が今大きな課題となっています。

本セミナーでは、このグループ連結経営時代に向けて本社をどう再構築すべきか、そのフレームワークや改革プロセスのポイントを解説します。貴社の本社改革の実践に是非ご活用下さい。

日 時	平成14年3月22日（金）13：30～17：30（13：00 受付開始）
会 場	(株)日本総合研究所 本社1階セミナールーム（東京都千代田区一番町16番）
対 象	経営トップ及び経営企画担当役員、マネジャー、スタッフの皆様

セミナー内容

1. 本社改革の必要性

(1) グループ経営と本社改革の方向性 (2) 企業価値創造と本社改革の方向性	グループ経営時代において企業価値創造を積極的にリードする「本社」像とその改革の方向性について提言します。
--	--

2. 本社のミッションと機能

(1) グループ組織形態と本社ミッションの変遷 (2) 本社ミッションの明確化／機能定義 (3) 機能分類の視点	グループ価値を創造し続ける本社であるには、グループシナジーを積極的に創出していく機能が強く求められます。単なる事業価値の総計以上のグループ価値を生み出す本社に求められる機能について、解説します。
--	---

3. 本社改革のプロセス

(1) 経営課題と現行組織の問題点の認識 (2) 本社必要機能の洗出しと分類・集約 (3) 機能の構造化による組織再編成	本社改革は、現状の組織体制を起点としたものでは中途半端に終る恐れがあります。組織機能の視点からのゼロベースの本社改革プロセスを解説します。
--	---

4. 本社新組織のマネジメント

(1) 機能変質の類型とその原因 (2) コーポレート機能のマネジメント (3) サービスセンター機能のマネジメント	本社改革を実行し組織を再編しても、時間の経過や情勢の変化とともに本社機能は変質する危険を常にはらんでおります。このような変質を最小限に食い止めるとともに本来の機能を遂行するために必要なマネジメントツールとその導入手法を解説します。
--	---

5. コーポレートガバナンスと本社機能

(1) 各種制度改正の概要 (2) 変化に対応した組織設計のアプローチ (3) 事例研究	商法改正を中心とした、各種の制度改革によりコーポレートガバナンスのありかたが今注目を浴びています。各種制度変更の概要とコーポレートガバナンスの改革論議のポイント、およびそれらが本社の組織設計に及ぼす影響について事例紹介も交えて解説します。
--	---

講 師

竹下隆 （たけした たかし） 株式会社日本総合研究所 主席研究員

組織・要員・業務改革を専門とし、最近は本社改革に関するコンサルティングを展開中

小谷和成 （こたに かずなり） 株式会社日本総合研究所 主任研究員

管理会計をベースとした経営管理制度の構築を専門とし、最近はグループ経営における組織マネジメントに関するコンサルティングに注力している。

武永将一 （たけなが しょういち） 株式会社日本総合研究所 主任研究員

コーポレートファイナンスを専門とし、グループ組織設計、本社組織設計、企業価値評価、EVA・BSC を利用した管理会計制度設計等のコンサルティングに従事している。

山田英司 （やまだ えいじ） 株式会社日本総合研究所 研究員

本社組織の予算編成・管理、連結経営管理分野を専門とし、現在は法務・会計を軸としたグループ経営における事業・組織再構築に関わるコンサルティングを担当。